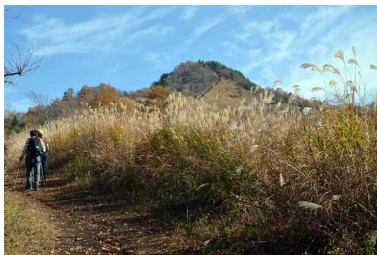


新雪の富士山をお供に歩く

杓子山・鹿留山

実施日 2012年11月13日（日）
 天候 晴れ
 リーダー 涌井 良明
 参加者 佐藤金治、一柳昭、福島政幸、鈴木政三、山崎富美恵、鈴木恵美子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、小林千恵 計14名
 費用 JR(利デ-パス)2,300円/大月⇒富士山990円/タクシー(往復)2,630円
 タイム 鳥居地峠(9:00~9:10)高座山(10:10~10:15)大ザス峠(10:58~11:10)杓子山(11:50~12:30昼食)鹿留山分岐(13:07)鹿留山(13:15~13:25)立の塚峠(14:26~14:36)養鶏場下(15:23~15:35タクシー)大月(17:30~17:49)
 データ 行動時間 6時間 18分
 積算距離 10.52 km
 総上昇量 879 m
 移動平均速度 2.3km/h

アオゾラー！
 の鳥居地峠からく
 林道を登り、行く手に
 緩く入る、の盛り上
 りが見える様



ススキとも相まって素晴らしい眺めを作っている。つつい振り返ってしまうことが多い。高座山へは急な尾根を直線的に登る、小さな頂から小ピーク先の送電鉄塔のあるコルから左に三ツ峠を見ながら少し下って大ザス峠にでる。左から不動湯からの道が合流する。こ

こから杓子本峰の上りになる、直ぐにハングライダーの離陸台を右に見て急登を行く、山頂まで30分とあったが標高差270m



の登りはきつい、それでも11時50分杓子山頂に出る。この頃には富士山は東側から湧きだした雲に山頂付近は覆われてしまっていた。団体パーティやらで賑やかな頂は落ちていて山頂の雰囲気を楽しむことが出来な



筋を小さく登降して進む、左前方の木の間に鹿留山が見えたと下山口でもある鹿留山の分岐に着く。比較的緩やかな尾根を進むと木立の中に三角点を持ったピークらしくない鹿留山に着く、今は葉が落ちて多少は周囲の様子も伺えるが葉の多い時期は何とも地味な山頂だ。ただ人がいなかったのは好ましい。

鹿留山を辞して分岐迄戻り、下山路に入る。直ぐに急な下りになる。下り口には所々の設置である、時々現れる岩角の下りも混じり、チラチラと見える下界の紅葉に慰められながら下る。



タキ沢の頭を過ぎると岩もなくなり落葉の尾根道を下る道幅も広くなり傾斜も落ちてくると立ノ塚峠に下り着く、そのままだま進めば二十曲峠方面だ。我々は右へ内野方面へ向かう、広い道をだらと下るようになるが途中で現れた真赤な楓に秋の楽しみを送り、送電鉄塔を過ぎ別荘地を抜けると養鶏場を見てその先の交差点で呼んだタクシーを待つ、今日の登山者は街人になった。



久しぶりに好天になった週末登山だったが、メニューの一部の富士ビューや急な登降路もお楽しみいただけて良かったのではないのでしょうか？

やはり富士山は素晴らしい姿でした。

(記・涌井 良明)

(写真提供・涌井 良明)